

# 令和8年度第1回北薩地区小・中・義務教育学校校長研修会

令和8年4月24日（金）

<b>1 目的</b>	県及び地区教育行政の重点施策並びに共通実践事項等について理解を深めるとともに、学校経営上の課題を適切に理解し、その解決に資する。	
<b>2 会場</b>	長島町文化ホール（長島町）	
<b>3 出席者</b>	各小・中・義務教育学校校長 各市町教育委員会教育長、学校教育課長、指導主事 等	
<b>4 内容</b>	(1) 開会の挨拶及び所長講話 所長 (2) 教育事務所の重点施策等説明 ア 総務課 総務課長 イ 管理課 管理課長 ウ 指導課 事前にオンデマンド配信 <昼食・休憩> (3) 事例発表 薩摩川内市立入来小学校 松原 葉子 校長	(4) 講演（事前収録動画） 教育課程研究センター学力調査課長 櫻井 綾乃 氏 教育データサイエンスセンター学習データ活用調査官 平 千枝 氏 (5) 追究の時間「学力向上のための校長としての取組」 (6) まとめと指導 指導課長 (7) 閉会の挨拶 長島町教育委員会教育長

## 5 様子



開会の挨拶及び所長講話



事例発表

薩摩川内市立入来小学校 松原 葉子 校長



閉会の挨拶

長島町教育委員会教育長



追究の時間

「学力向上のための校長としての取組」

## 6 感想・意見

- ・ 所長講話から、校長は「自分でやる人」ではなく、人を通して学校を動かす存在であることを改めて考えさせられた。職員との信頼関係を大切に、任せ、支え、責任をもつ校長として、組織的な学校経営に努めていきたい。
- ・ 学力向上に向けては、全国学力・学習状況調査や鹿児島学力・学習状況調査等の結果を多面的に分析し、子供の実態や課題を職員と共有することの重要性を感じた。データを授業改善や校内研修に生かし、実効性のある取組につなげていきたい。
- ・ 事例発表では、子供の学びの姿を具体的に見取り、写真や資料等で可視しながら職員と共有する取組が大変参考になった。校長として日常的に授業を参観し、職員へのフィードバックや価値付けを通して、授業改善を進めていきたい。
- ・ 「追究の時間」では、自校の課題を自分事として捉え、同規模の学校の校長先生方と意見交換を行うことができた。学力向上、生徒指導、校内研修、職員の意識向上など、各校の実情に応じた取組について考えを深める有意義な時間となった。
- ・ 今後は、職員との対話を大切にしながら、学校の強みや課題を明確にし、学習者主体の授業づくりや基礎学力の定着、ICTの効果的な活用等を組織的・継続的に推進していきたい。子供も職員も主体的に学び、成長できる魅力ある学校づくりを目指したい。